

経営評価シート

1. 団体の基本情報							
団体名	(公財)福岡県動物愛護センター			設立年月日	昭和57年1月27日		
所在地	古賀市小竹131-2						
出資総額	3,000千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	3,000千円			千円	%		
県出資割合	100.0%			千円	%		
				千円	%		
設立目的等	動物愛護と適正飼養に関する普及啓発及び人材育成等に関する事業や動物の管理に関する事業を行うことにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を確保しつつ人と動物が共生できる社会の実現を図り、併せて、県民の間に動物を愛護する気風を招来し、生命の尊重、友愛及び平和の情操の涵養に寄与することを目的とする。						
主要事業の内容							
事業名	事業内容						
動物愛護、適正飼養に関する普及啓発及び人材育成事業	動物関係専門学校生等への研修、施設見学者への啓発、犬のしつけ方教室、動物愛護教室、講師派遣、譲渡団体研修会、センターボランティア研修会を行っている。						
動物愛護・管理支援事業	動物の収集及び管理事業（処分含む）、犬及び猫の譲渡事業を行っている。						
動物愛護週間事業	動物慰霊祭及び動物愛護講演会、動物愛護フェスティバルふくおか、街頭キャンペーンを行っている。						
事業実績に関する情報	単位	H30	R1	R2	R3	R4	備考
譲渡事前説明会・面談参加数	組	173	184	125	139	102	
動物愛護教室参加者数	人	50	46	-	6	21	
犬のしつけ方教室開催数	回	24	24	20	21	21	
動物の処分数	頭	1,403	1025	619	358	280	
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長 吉田 哲也			区分	県生活衛生課長		非常勤
常勤役員名	常務理事 友枝 哲宏			区分	県派遣		
		H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1
常勤役員数(※)		1名	1名	1名	1名	1名	1名
職員数	常勤(正規)	2名	2名	2名	2名	2名	2名
	うち プロパー	-	-	-	-	-	-
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	7名	7名	7名	8名	7名	7名
	合計	9名	9名	9名	10名	9名	9名
増減の主な理由							
令和3年度の嘱託については、新任専門職(会計担当)を1名採用するにあたり、事務引継ぎ、決算処理のために前任専門職の雇用を5月末まで継続したため、8名としている。							
3. 県関与の状況							
人的支援(常勤役員再掲)(※)		H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1
	県派遣	2名	2名	2名	2名	2名	2名
	県OB	1名	1名	1名	1名	1名	1名
財政支出		H30	R1	R2	R3	R4	備考
	出資金	-	-	-	-	-	
	貸付金	-	-	-	-	-	
	補助・負担金	-	-	-	-	-	
	委託料	107,326千円	106,631千円	107,799千円	111,378千円	113,441千円	
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(R4~R8)							
動物愛護団体やボランティアとの連携・協力を促進するとともに、ホームページや各種SNS等の広報媒体の活用等により動物愛護のさらなる普及啓発、人材育成事業等の充実を図る。							

※役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は、反映していない。

4-②. 中期経営目標における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段：計画 下段：実績						改善目標区分の達成に向けた2022年度(R4)の取組状況
				2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	
事業活動・住民サービス (計画性 公益性 等)	<p>&lt;普及啓発、人材育成&gt; ①動物愛護事業の充実及び参加者数の増大を図る。 しつけ方教室等を通じた模範的な飼い主の育成、ボランティア参加者数の増大、ボランティア等に関する研修や研修・意見交換会により動物愛護に係る人材の育成を図る。</p>	犬のしつけ方教室参加者数	人		220				270	<p>・犬のしつけ方教室は台風や大雪により一部中止したことから、参加人数が一部減少した。 ・猫の適正飼養に関する講座は、会場とwebの併用開催にしたことから、参加者が昨年よりも増加したと思われる。 ・センターオープンデーは3年ぶりの開催となったが、概ね3年前と同程度の参加人数となった。 ・ペット相談件数については、特に譲り受け希望が減少している。これは新型コロナウイルスによる自宅で過ごす時間の増加に伴うペット需要の高まりが落ち着いたことによるものと思われる。 ・ボランティア勉強会は複数回できたため、R3に比べて参加数が増加した。 ・動物愛護事業に参加するボランティアの延べ人数に関して、ボランティアが参加するイベントの回数が増加したことにより、R3に比べて人数が増加した。 ・譲渡事前説明会・面談参加数については、センターでの犬猫の収容数が減少したことにより譲渡数が減少したため、事前の面談数が減少したものの。 ・登録譲渡団体数は1団体増加し、減少はなかった。 ・動物の譲渡率、処分数は昨年に引き続き改善している。 ・HPの閲覧件数はR3の改修による増加、新型コロナウイルスによるペット需要の高まりに伴う増加が落ち着いたことにより、減少したものと思われるが、改修前と比較すると増加している。</p>
		猫の適正飼養に関する講座参加者数	人		20				40	
		センターオープンデー参加者数	人		200				250	
		ペット相談	件		810				820	
		ボランティア勉強会参加人数	人		10				20	
		動物愛護事業に参加するボランティアの延べ人数	人		240				350	
	<p>&lt;処分数の減少&gt; ②HP、SNS等の拡散力のある広報媒体の活用及び譲渡先団体の拡充により、動物の適正飼養・終生飼養の啓発及び譲渡の推進を図る。</p>	譲渡事前説明会・面談参加数	組		140				180	
		登録譲渡団体数	団体		32				36	
		動物の譲渡率(譲渡数/引取り数)	%		60.0				62.0	
		動物の処分数	頭		355				335	
		HPの閲覧件数	件		263,000				267,000	
		<p>&lt;情報発信・広報活動&gt; ③HPにて、収容動物情報、各種教室、イベント等の情報のほか、適正飼養に係る情報等の有用な情報を発信することで、県民の利便性の向上を図る。</p>				262,224	195,835			
財務会計 (経済性 効率性等)	①人件費の増加の抑制に努める。	人件費総額(退職金除く)	千円		37,611			37,611		
内部管理 (健全性等)	年次休暇の取得率を向上させ、職員のワークライフバランスの推進を図る。	年次休暇の年間取得日数	日/年		125			150		
					120	136				
達成状況(まとめ)										
<p>・新型コロナウイルスの影響により中止、人数制限を行っていたオープンデー等のイベントについて、以前通りの実施が可能な状況に戻つつある。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響によるペット需要の拡大はいったん落ち着いたとみられ、譲渡に係る相談等は減少したものの、ボランティアや譲渡団体による活動はコロナ以前どおりに戻りつつあり、譲渡率は向上し、処分数は改善している。</p> <p>・HPの閲覧件数はR3の改修による増加、新型コロナウイルスによるペット需要の高まりに伴う増加が落ち着いたことにより、減少したものと思われるが、改修前と比較すると増加している。</p>										

5. 経営状況（公益法人）							
項目	単位	H30	R1	R2	R3	R4	
<b>【貸借対照表】</b>							
資産合計	千円	13,833	13,107	13,378	17,074	20,533	
うち金銭債権	千円	28	33	-	-	-	
うち特定資産	千円	-	-	-	-	-	
負債合計	千円	8,813	7,150	7,739	9,602	12,236	
うち借入金額	千円	-	-	-	-	-	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
正味財産合計	千円	5,021	5,957	5,639	7,472	8,298	
県債務保証額又は損失補償額	千円	-	-	-	-	-	
県損失補償債務残高	千円	-	-	-	-	-	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
<b>【正味財産増減計算書】 Sheet4 法人全体より転記</b>							
経常収益 A	千円	108,226	107,517	108,545	113,131	115,286	
うち県財政支出額 B	千円	107,326	106,631	107,799	111,378	113,441	
内訳：補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-	
内訳：委託料	千円	107,326	106,631	107,799	111,378	113,441	
うち最も多額な項目	項目名	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	
	千円	598	880	746	1,752	1,844	
経常費用 C	千円	109,249	106,580	108,864	111,298	114,461	
うち人件費総額 D	千円	37,641	36,143	36,434	37,761	36,967	
評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-	
経常増減額 F=(A-C+E)	千円	△ 1,023	937	△ 318	1,833	825	
経常外損益 G	千円	-	-	-	-	-	
法人税、住民税及び事業税 I	千円	-	-	-	-	-	
当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-	千円	△ 1,023	937	△ 318	1,833	825	
当期指定正味財産増減額 K	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	107,326	106,631	107,799	111,378	113,441	
<b>【財務指標】</b>							
正味財産比率	%	36.3	45.5	42.1	43.8	40.4	
県財政支出率 (=B/A)	%	99.2	99.2	99.3	98.5	98.4	
人件費率 (=D/A)	%	34.8	33.6	33.6	33.4	32.1	
収益事業比率	%	-	-	-	-	-	
受託事業外注費比率	%	41.7	41.4	41.5	41.6	41.7	
<b>【団体毎の経営評価指標】</b>							
人件費総額（退職金除く）	千円	37,580	36,088	36,378	37,708	36,967	
<b>【常勤役職員の報酬・給与に関する状況（R4年度）】</b>							
常勤役員平均年齢	54.0歳	常勤役員平均年収	9,232千円	常勤職員平均年齢	59.0歳	常勤職員平均年収	7,141千円
<b>【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託事業の返納金が生じたことや新型コロナウイルスによる資材不足等により委託・修繕の履行が年度末に集中したことから、未払金及び未払費用が対前年度比で増加したことにより、資産合計及び負債合計は増加した。</li> <li>・修繕費用の増により、経常費用は増加したが、対前年度比で管理費用が減少したことにより経常増減額は増加となった。</li> </ul>							
<b>6. 団体（経営責任者）の自己点検評価</b>							
<p>新型コロナウイルスの影響により中止、制限を行っていたセンターオープンデー等のイベントについては、制約なく実施できる環境が整いつつあるため、今後はweb配信との併用等、幅広く参加できる環境を整えるなどし、目標の達成に向け改善等を行ってゆく。</p>							
<b>7. 外部専門家の意見</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の処分数は、前年度からさらに減少し、中期経営目標における目標処分数を下回っており、改善目標を達成している。また、譲渡率も目標を達成している。</li> <li>・センターオープンデーを3年ぶりに開催するとともに、ボランティアの勉強会開催数も増加するなど、センターの広報機会が増加している。</li> <li>・引き続き、市町村における各種事業との連携も含め、処分数の減少への取組が求められるとともに、県や関係機関とも連携し、獣医師をはじめとする人材の確保及び育成が求められる。</li> <li>・処分数の減少状況等を踏まえ、今後、致死処分方法の検討も含め処分業務運営のあり方について、県内の保健所設置市や近隣県の状況も踏まえて引き続き県と検討することが望まれる。</li> </ul>							
<b>8. 経営評価委員会による経営評価結果</b>							
<p>致死処分方法の検討や、SNSを活用した広報の手段について、県と連携を深めつつ、飼い主に対する適正飼養の啓発や譲渡の促進等、致死処分数の削減のための取組を促進されたい。</p>							

（注）表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。

5-②. 経営状況 (内訳表)							
項目	単位	H30	R1	R2	R3	R4	
<b>【正味財産増減計算書】</b>							
法人全体 (①)③	経常収益 A	千円	108,226	107,517	108,545	113,131	115,286
	うち県財政支出額 B	千円	107,326	106,631	107,799	111,378	113,441
	内訳：補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳：委託料	千円	107,326	106,631	107,799	111,378	113,441
	うち最も多額な項目	項目名	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入
		千円	598	880	746	1,752	1,844
	経常費用 C	千円	109,249	106,580	108,864	111,298	114,461
	うち人件費総額 D	千円	37,641	36,143	36,434	37,761	36,967
	評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F=(A-C+E)	千円	△ 1,023	937	△ 318	1,833	825
	経常外損益 G	千円	-	-	-	-	-
	法人税、住民税及び事業税 I	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	△ 1,023	937	△ 318	1,833	825
	当期指定正味財産増減額 K	千円	-	-	-	-	-
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	107,326	106,631	107,799	111,378	113,441	
公益目的 事業会計①	経常収益 A①	千円	92,293	91,681	91,906	95,325	98,544
	うち県財政支出額 B①	千円	91,394	90,796	91,160	93,572	96,700
	内訳：補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳：委託料	千円	91,394	90,796	91,160	93,572	96,700
	うち最も多額な項目	項目名	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入	受取寄付金収入
		千円	598	880	746	1,752	1,844
	経常費用 C①	千円	92,929	90,818	92,225	92,956	97,829
	うち人件費総額 D①	千円	28,827	27,799	28,109	28,838	28,369
	評価損益等合計額 E①	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F①=(A①-C①+E①)	千円	△ 636	863	△ 319	2,369	716
	経常外損益 G①	千円	-	-	-	-	-
	他会計振替額 H①	千円	-	-	-	-	-
	法人税、住民税及び事業税 I①	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J①=(F①+G①+H①)-I①	千円	△ 636	863	△ 319	2,369	716
当期指定正味財産増減額 K①	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L①	千円	91,394	90,796	91,160	93,572	96,700	
収益事業 等会計②	経常収益 A②	千円	/	/	/	/	/
	うち県財政支出額 B②	千円	/	/	/	/	/
	内訳：補助金・負担金	千円	/	/	/	/	/
	内訳：委託料	千円	/	/	/	/	/
	うち最も多額な項目	項目名	/	/	/	/	/
		千円	/	/	/	/	/
	経常費用 C②	千円	/	/	/	/	/
	うち人件費総額 D②	千円	/	/	/	/	/
	評価損益等合計額 E②	千円	/	/	/	/	/
	経常増減額 F②=(A②-C②+E②)	千円	/	/	/	/	/
	経常外損益 G②	千円	/	/	/	/	/
	他会計振替額 H②	千円	/	/	/	/	/
	法人税、住民税及び事業税 I②	千円	/	/	/	/	/
	当期一般正味財産増減額 J②=(F②+G②+H②)-I②	千円	/	/	/	/	/
当期指定正味財産増減額 K②	千円	/	/	/	/	/	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L②	千円	/	/	/	/	/	
法人会計③	経常収益 A③	千円	15,933	15,836	16,639	17,806	16,742
	うち県財政支出額 B③	千円	15,932	15,835	16,639	17,806	16,741
	内訳：補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-
	内訳：委託料	千円	15,932	15,835	16,639	17,806	16,741
	うち最も多額な項目	項目名	基本財産利息収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入
		千円	1	1	-	-	-
	経常費用 C③	千円	16,320	15,762	16,638	18,342	16,632
	うち人件費総額 D③	千円	8,814	8,344	8,325	8,923	8,597
	評価損益等合計額 E③	千円	-	-	-	-	-
	経常増減額 F③=(A③-C③+E③)	千円	△ 387	74	1	△ 536	110
	経常外損益 G③	千円	-	-	-	-	-
	他会計振替額 H③	千円	-	-	-	-	-
	法人税、住民税及び事業税 I③	千円	-	-	-	-	-
	当期一般正味財産増減額 J③=(F③+G③+H③)-I③	千円	△ 387	74	1	△ 536	110
当期指定正味財産増減額 K③	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L③	千円	15,932	15,835	16,639	17,806	16,741	

(注) 表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。